

# ちょこつとマーケット

## (先進国国債利回り・為替)

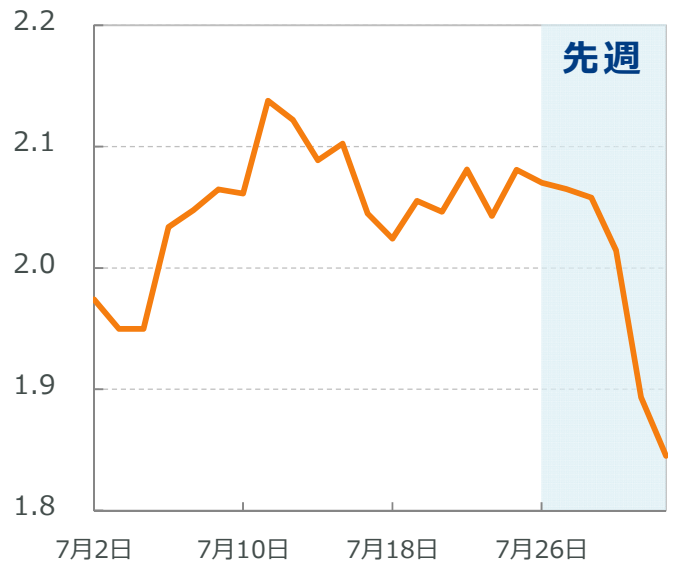
### POINT 先進国国債利回り

【2019年7月29日～2019年8月2日】

#### 国債利回りは急低下

- ◆ FOMC（米連邦公開市場委員会）で10年半ぶりの利下げ行われたことや軟調な米国経済指標などを背景に、比較的安全とされる国債の買いが進みました。
- ◆ トランプ米大統領が対中制裁関税第4弾の発動を表明したことを受けて投資家の間に懸念が広がり、国債利回りは一段と低下しました。

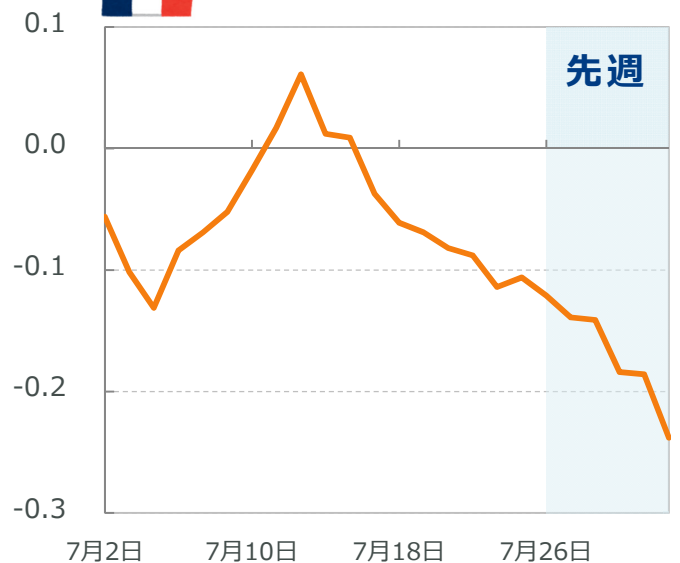
(%)  米国10年国債利回り



(%)  日本10年国債利回り



(%)  フランス10年国債利回り



(注) データは2019年7月2日から2019年8月2日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

# ちょこつとマーケット

## (先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2019年7月29日～2019年8月2日】

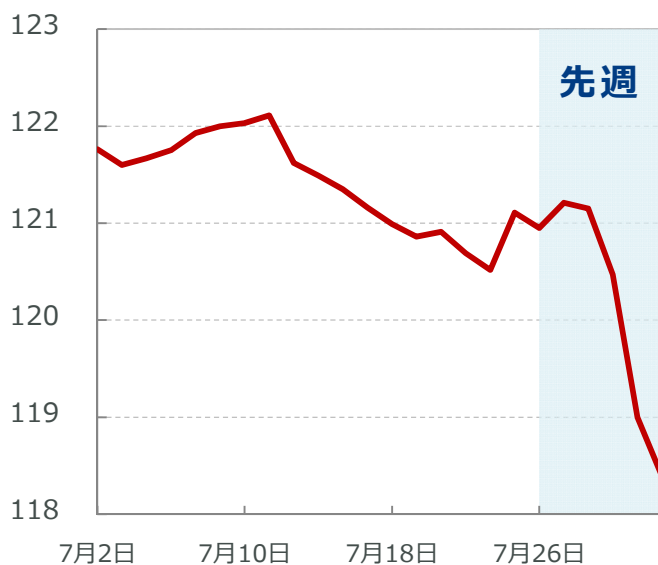
### 円が全面高

- ◆米中貿易摩擦の再燃を受けて世界経済情勢を巡る懸念が広がり、米ドルをはじめとする主要通貨が対円で売られ円は全面高となりました。
- ◆市場では米国でのさらなる利下げが意識され、日米金利差の縮小観測も円高の要因となりました。

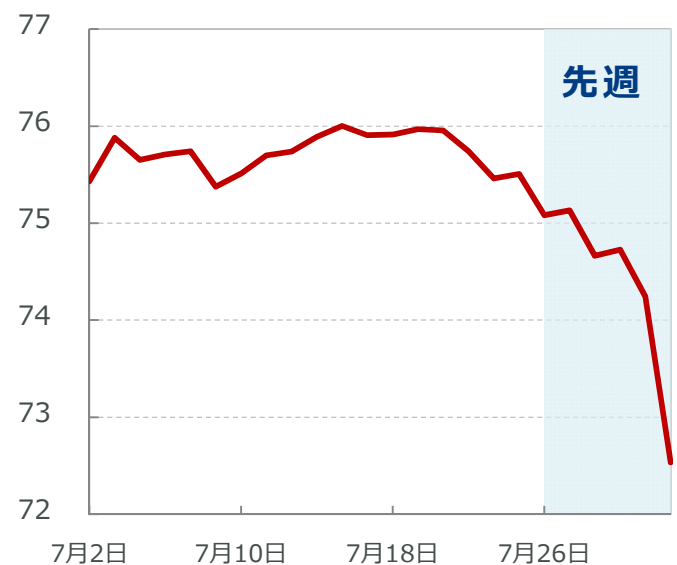
 **米ドル円**



 **ユーロ円**



 **豪ドル円**



(注) データは2019年7月2日から2019年8月2日(日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。